

# 脱炭素社会実現に向けた 省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム

Program to Develop and Promote the Commercialization of Energy Conservation Technologies to Realize a Decarbonized Society

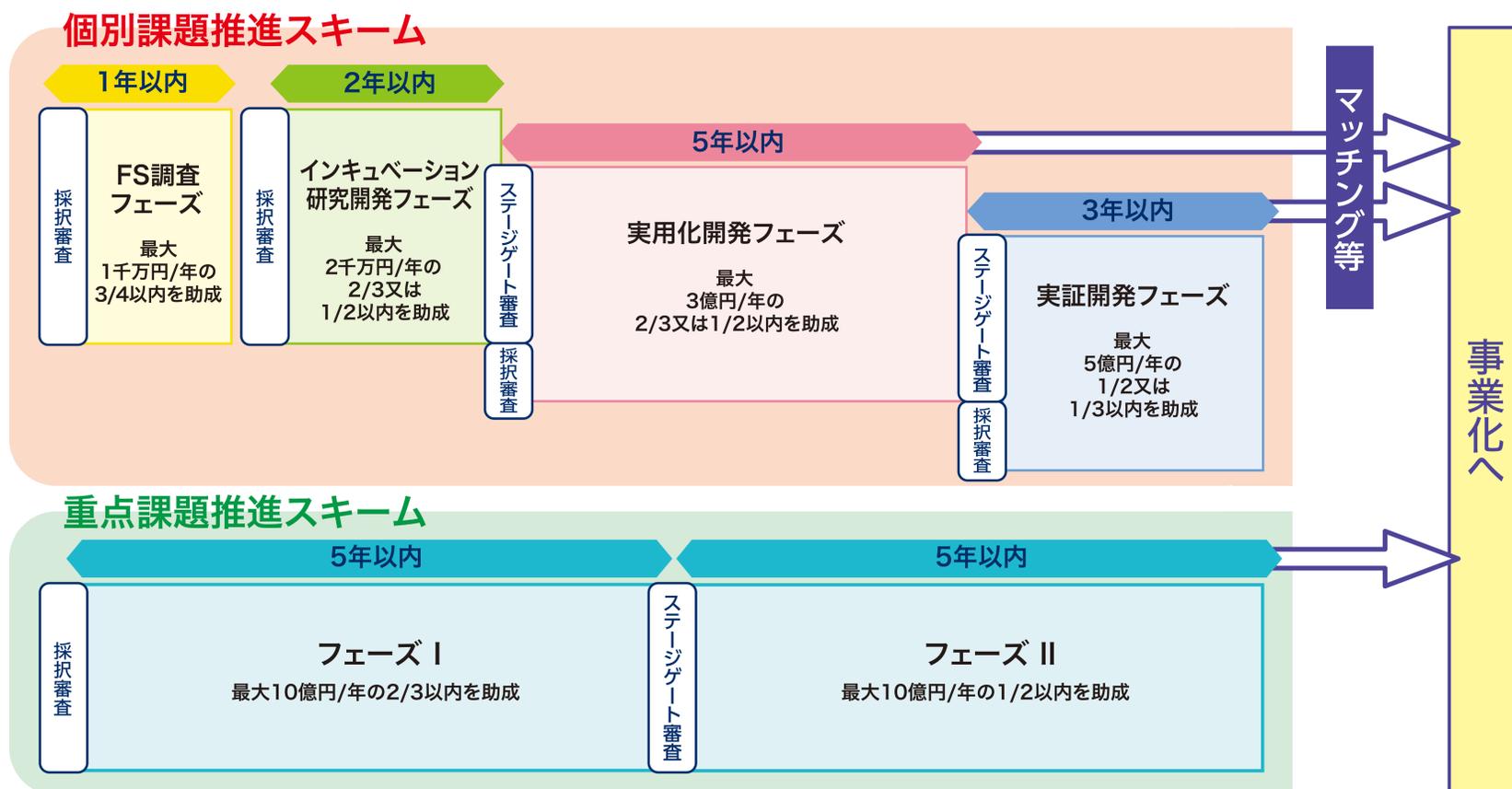
## 事業目的

脱炭素社会を実現しつつ、産業競争力を強化するためには、技術開発だけでなく、その技術の社会実装の促進も必要不可欠です。本事業では、革新的な省エネルギー技術の開発と共に、社会実装に向けた取り組みを支援します。

## 事業概要

「省エネルギー技術戦略」に掲げる「重要技術」に係るテーマを中心に、高い省エネルギー効果\*が見込める技術のシーズ発掘から事業化までを一貫して支援する、テーマ公募型事業です（企業必須、大学単独の提案は不可）。なお、本プログラムは「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」の後継プログラムです。

※2040年度時点に日本国内において原油換算10万KL/年以上のエネルギー消費量の削減



個別課題推進スキーム					重点課題推進スキーム
	FS調査	インキュベーション研究開発	実用化開発	実証開発	
概要	シーズの事業性検討、開発シナリオ策定や省エネルギー効果の検討等を行うための調査。次フェーズ以降に応募するための事前検討。	技術シーズを活用し、開発・導入シナリオの策定等を行う。実用化開発・実証開発の事前研究。	保有している技術・ノウハウ等をベースとした応用技術開発。本開発終了後3年以内に製品化を目指す。	実証データを取得するなど、事業化を阻害している要因を克服し、本開発終了後、2年以内に製品化を目指す。	2050年を見据え、業界の共通課題及び異業種に跨る課題の解決に繋げる革新的な技術開発等、複数の事業者が連携・協力して取り組むべきテーマを設定し、技術開発を行う。

## 相談受付中: 脱炭素社会を見据えた技術開発をスタートしませんか?

本公募の手続に関する質問の他、技術開発内容が本事業の趣旨に合致するか、省エネルギー効果量の算定方法等のご相談等も受付中です。お気軽にお声がけいただくか、下記よりお問い合わせください。

プロジェクト実施期間: 2021~2035年度  
2024年度予算: 60.0億円

問い合わせ先: 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 省エネルギー部  
担当者: 「脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム」事務局  
E-MAIL: shouene@nedo.go.jp